

「人形劇の人形たち」開催！！

会期:2012年6月9日(土)~7月16日(月・祝)

6月2日から横浜人形の家で行なわれるメルヘン人形劇フェスティバルと連動し、企画展「人形劇の人形たち」を開催いたします。本展では人形が動く仕組みに注目し、人形劇に使われる人形を展示するほか、江戸後期のからくり人形など、14カ国・約60点の人形を紹介いたします。糸操り、片手遣いなど人形を操作するための工夫や、それぞれの人形が持つ世界をお楽しみください。

会場ではフェスティバル参加者有志によるミニ公演も実施！人形の動きを真近に見て、触れ、演じることもできます。

◆人形劇用の人形

人形を動かす仕組みに注目。

人形の操作は大きく分けると直接触れて動かす方法と道具を通じて操る方法があります。

直接:片手遣い人形「ギニョール」(フランス)

道具:棒遣い人形、糸操り人形

上の2つの操作方法を基本として、影絵人形「ワヤン・クリ」(インドネシア)や、1体の人形を3人で操作する文楽人形(日本)など、各地で独自の発展を遂げています。



棒遣い人形「孫悟空」(中国)



文楽人形「お染」(日本)

◆日本と西洋のからくり人形

18世紀後半から19世紀前半を中心に、時計の機構など動く仕組みと人形を組み合わせ、動く仕掛けを持つ人形が制作されました。当時の技術の粋を集めて制作された人形は今でも独特の魅力をもっています。

江戸後期の日本のからくり人形はじめ、日本と西洋のからくり人形16点を紹介いたします。



からくり「唐子」江戸後期

◆関連ミニ公演

メルヘン人形劇フェスティバル参加者有志による人形劇のデモンストレーションです。人形劇の一部を上演し、使い方、人形の構造、舞台裏などを紹介する他、来場者は実際に人形を動かすことができます。

開催概要 会期:2012年6月9日(土)~7月16日(月・祝)
ミニ公演:会場内 6月16日(土)、7月1日(日)、7月15日(日)
3階休憩コーナー 6月9日(土)、10日(日)
開催時間についてはTEL045-671-9361 まで問合せください
会場:横浜人形の家 3階 第3展示室
開館時間:9時30分~17時(入館は16時30分まで)
休館日:毎週月曜日〔月曜祝日の場合は開館し、翌火曜日休館〕
入館料:おとな(高校生以上)300円/子ども(小・中学生)150円

→裏面もご覧ください

お問い合わせ先

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 企画戦略部門
広報担当マネージャー 中村 淳 TEL:045-221-2111

*本日は19:00まで在席しております。

◆夏休みワークショップ

親子で楽しめるワークショップです！！

1. 木のおもちゃのワークショップ

日程:7月29日(日)、8月3日(金)、8月4日(土) 各日 13:00~16:00(受付は15時まで)
参加費:100円/個(入館料別途必要) 定員:各日30名 ※予約不要

2. 鳩笛絵付け体験

日程:8月7日(火)、8月25日(土) 各日 13:30~15:30
参加費:100円/個(入館料別途必要) 定員:各日25名 ※予約不要

3. こけし絵付け体験

日程:8月11日(土)、8月12日(日) 各日 14:00~16:00
参加費:800円/本(入館料別途必要) 定員:各日10名 要予約(受付は7月1日より開始します)

4. 人形デッサン教室

日程:8月18日(土)、8月26日(日) 各日 13:30~15:30
参加費:200円(入館料別途必要) 定員:各日15名 要予約(受付は8月1日より開始します)
※1~4の場所はいずれも3階休憩コーナー

5. 人形劇入門講座「親子で楽しむ人形劇」

1日目で簡単な人形を作り、2日目に劇を演じるワークショップです。

日程:8月21日(火)、22日(水)各日 10:30~12:30

場所:4階ホワイエ

応募締切:8月15日(水)まで

参加費:高校生以上1,800円、小・中学生800円、未就学児童500円(入館料含む)

定員:20名※2日間の連続講座のため、両日とも参加できること

※小学校4年生以下は保護者同伴での参加をお願いします。

※3~5の予約申込先:電話:045-671-9361(横浜人形の家)

同時開催中！！



横浜フランス月間 2012 特集展示 **フランスの個性的な人形たち**

会期:2012年5月29日(火)~7月16日(月・祝)

場所:2階常設展示内 トピックスコーナー

6月は横浜フランス月間が開催されます。フランスのみならずアンティークドールの代名詞的存在であるビスクドールに加え、南仏の人々の風俗や暮らしを模した伝統的なサントン人形を紹介します。(サントンはフランス語で「小さな聖人」、キリスト教の諸聖人の他、南仏の人々もモチーフになりました)

華麗なビスクドールと南仏の魅力溢れるサントン人形、個性豊かな人形たちをお楽しみください。

また、同時開催の企画展では、フランスの人形劇用の人形ギニョールも展示いたします。



サントン人形



ビスクドール
ブリュ作「プレベティ」
1888年代